



ふくしま県北事業所通信



前回の事務所のIT通信

福島県桑折町を拠点にITコンサルタントをしていています齋藤慎也です。今回は「+」で始まる不審な電話に注意しましようという内容で書いていきます。

携帯電話に「十」で始まる電話番号から電話がかかってきたことはないでしょうか。私も過去に一度だけかかるってきたことがあります。もちろんスマートフォンの電話帳に登録している番号ではなく、不審に思ったので出ませんでした。

国民生活センターは、そうした「+」で始まる電話番号からの無言電話や詐欺とみられる電話など、不審な着信の報告が相次いでいると注意喚起しました。「+」から始まる電話は、国際電話と考えられます。「+1」から始まる番号は、アメリカ・カナダの国コードになります。

例えば、代金収納会社を名乗る人物から着信があり「未納料金三十万円を支払うよう。支払わなければ提訴する」と伝えられたという報告があります。国民生活センターは、知らない番号からの着信には出ず、折り返しも控えるよう注意喚起。

電話に出てしまった場合でも、自動音声案内を最後まで聞かず切斷し、個人情報を伝えないよう呼び掛けています。また固定電話だと、ナンバーディスプレイを利用していない場合があります。その際は、国際電話の着信を無料で停止できる「国際電話不取扱受付センター」の申請があります。携帯電話でも、各キャリアが迷惑電話対策サービスを提供しています。そういうたサービスを確認して利用しましょう。

私は知らない電話番号がかってきました場合はすぐには出づに、その電話番号をGoogleで検索するようにしています。電話番号を検索すると、迷惑電話や営業電話などの情報を掲載している便利なサイトがあり、そこで確認することができます。

電話を待つていたり急いでいる
と、「電話に出なくては！」
と焦ることがあると思います。
それでも、知らない番号から電
話がかかってきた場合は落ち着
いて深呼吸し、一旦出ないでお
くようになります。

ITエンサルタンツ
齊藤事務所 代表 齊藤慎生



空き家を所有しあ困りの方

空き家を利活用したい方

↓ご相談はお気軽に！↓



桑折まちづくりネット

桑折町字北町66-2
☎ 024-572-5348
✉ info@koori-machikulturu.net



空き家・空き店舗対策からまちづくりに取り組む専門家団体「桑折まちづくりネット」では昨年度から国土交通省の「所有者不明土地等対策モデル事業」を実施しています。その中で今大きな課題として取り組んでいるのが、「相続放棄」された土地・建物に関する問題です。

『古い実家に住んでいた年老いた一人親が亡くなり、実家が誰も使う当てのない空き家になつた』空き家発生の理由としてよくある話だと思います。そうした場合、通常であれば相続を受けた子世代が土地・建物を売却して人手に渡すというのが一般的。荷物の片付けなどで一時所有したとしても、管理が大変になり最終的には手放すよう

になるのがほとんどでしょう。
ただ、その実家のある場所が
街なかの売りやすい場所なら良
いのですが、山に近いポツンと
一軒家だつたりすると、売りた
くても売れないと、いう状況にな
る可能性が高いです。そうした
実情を始めから知っている人は
早々と「相続放棄」をして、責
任を負わない立場を選んでしま
います。そうなると、残された
土地・建物は誰にも管理されず
荒れ放題に。そんな状況が柔折
町でも増えつつあります。

「相続放棄」された空き家が増加中

おの設計の住まいとまちづくりワーク

フリーランスライター「まなふく」手帖

文章で知識や情報、想いを伝えるライター業を中心に行なっています。

あなたは情報を発信するとき「自分が伝えたいこと」を強く意識していませんか？ じつは、読者の心を掴む文章には、その逆の要素が必要なんです。そこで今回は、すぐ取り入れられるテクニック三選をご紹介します。

1. 読者の悩みに寄り添う

例えば『〇月〇日〇〇でイベント開催』という告知は、あくまで情報の提供に過ぎません。ここに『家族でお出かけ、どこに行こうか迷つてませんか？』『お子様が夢中になる体験が盛りだくさん！ 福島の自然と遊び秋の思い出を作りませんか？』といった「呼びかけ」を加えてみてください。読者の課題や悩みに対しても、メリットや解決策を提示する形です。ただの告知よりも、実際の行動につながりやすくなりますよ。

2. 相手の願望を刺激する

悩みを解決するということは、「こうなりたい」という願望を叶えることでもあります。伝え情報が読者にメリットとなる

ことを示すために「明るい未来や理想の姿」を文章で描くのです。『管理栄養士が作る、栄養バランスの取れたお弁当！』はただ特徴を伝えるだけの文章。『忙しくて献立を考える余裕がない日でも、バランスの良い食事が摑れるから罪悪感なし』と続けたほうが、読者は魅力をイメージしやすいでしょう。

3. 共感ネタを盛りこむ

「あるある！」という共感は、読者に親近感を持つてもらう手法の一つです。『頑張つても結果が出ず悔しかった』『三日坊主で続かない』など、誰もが経験するエピソードや感情を織り交ぜてみましょう。体験談やお客様の声も活用できます。共感で心の距離が近づけば、安心や信頼、説得力を感じてもらいます。

インターネットを活用しましょう！



〈ホームページ作成・運用〉

まだ作っていない
作っているけど生かせていない

〈Instagram等SNSをビジネスに〉

どのSNSを運用？
使い方がまだよく分からぬ
投稿を知つてもらうには？

お気軽に下記QRコードから
お問い合わせください

齋藤事務所

代表 ITコンサルタント
齋藤 慎也（桑折町）
<https://saitoshinya.com>



情報発信 コンテンツ制作

お手伝いします！



webメディア、コラム、宣伝文章、紙媒体記事など…
お任せください！

チラシ・名刺、求人情報、
HP、各種資料・書類など



webメディア、ECサイト、
ホームページ、SNSなどの
運用サポート承ります。

manafk - まなふく
福浦 真奈美



- ・テキストライター
- ・デザイン（web、紙面）
- ・ハンドメイド作家

<https://fukushimama.com>

～夢を叶える応援団～ 目指せ！自分史上最高！



〈小学生〉

担当教科講師との個別指導

〈中学生〉

1クラス12名までの集団授業

自学力を育む取り組み

保護者様への情報提供

兄弟姉妹同時受講の割引制度

一人親世帯未来支援制度

梁川町と保原町に教室があります
詳しくはQRコードから

志学白雲館

梁川校 〒960-0782 梁川町中町42-3
TEL 024-577-2292
保原校 〒960-0624 保原町1丁目14 2F
TEL 024-572-4355



バックナンバー
はこちら⇒



発行元：ふくしま情報発信局 伊達支局（おの建築設計事務所 内）

住所：福島県伊達郡桑折町字諏訪40-22 TEL：024-582-3004

メール：main@fukushima-info.net